

新学術領域研究事業 第三回総括班・国際活動支援班合同会議 議事録

日時：2017年2月24日（金）11:00～13:00

場所：立命館大学 東京キャンパス 教室5

出席者：五十嵐、落合、久保、酒井、末近、鈴木（絢）、松永、山尾、有村（学術調査官）
計9名、特任研究員（押尾、幸加木、白谷）、B02研究補佐・二宮

議事次第

1. 領域代表者による挨拶

2. H29年度シンガポール大学との国際会議「移民・難民・多文化共生」について

午後に控えるシンガポール大学との打ち合わせに先立ち、以下の点について、議論を行った。

- （1）日本側のパネルをどうするか：難民問題だけでなく、アジアを射程に入れた移民問題研究をいくつか提示することで合意した。
- （2）海外の専門家を招聘するのをどうするのか：シンガポール大学から協力を仰ぐことで合意した。
- （3）形式：二日間開催で、パネルは4～5つ、並行パネルにはしない形式でシンガポール大と相談することとした。
- （4）来年度に向けた計画研究の活動計画について
 - ・ 研究計画ごとの一定の統合性を持てるように、活動を活性化させることで、了解した。
 - ・ 分担者同士の研究内容を把握するため、計画研究横断的に、全体研究会を定例的に開催すべきことが指摘され、分担者は全員発表を義務づけることが決定された。
 - ・ 計画研究横断的プロジェクトを、現在実施されている世論調査以外に立ち上げていくことが決定された。

その後、シンガポール大学中東研究所との合同ミーティング(日時：2017年2月24日（金）15:00～18:00)をへて、総括班・国際活動支援班の討議は、2月26日に再開することとした。

新学術領域研究事業
第三回総括班・国際活動支援班合同会議（続き）
議事録

日時：2017年2月26日（日）13:00～18:00（13:00-15:00）

場所：早稲田大学 早稲田キャンパス 3号館 11階 1116号室

出席者：五十嵐、石戸、久保、酒井、松永、山尾、（落合）計6名、特任研究員（押尾、幸加木、白谷）

審議事項

1. 来年度に向けての活動計画について

（1）全体の共通事項として、活動の強化の必要性が指摘された。

そこでは、計画研究を縦軸とし、プロジェクト（班横断的）を横軸とする研究活動を推進することとした。

- ・ 来年度は、シンガポール大とのシンポジウムを念頭に移民・難民チームを設置することが推奨された。
- ・ 各計画研究の活動を強化するために、分担者として以下の研究者を追加することとした。
 - 錦田愛子（東外大：パレスチナ、移民・難民問題）→A01
 - 松尾昌樹（宇都宮大：湾岸アラブ諸国、外国人労働者問題）→A02
 - 小林正弥（千葉大：公共哲学）、後藤絵美（東大：イスラーム・ジェンダー）→B01
 - 森千香子（一橋大：フランス、移民問題、国際社会学）→B03

報告事項

各計画研究より、来年度の活動計画について、報告があった。

- ・ 計画研究 A01 の活動計画として、松永代表より、来年度は①国家を研究対象とするチーム、②移民を対象とするチームを2つのコアとして実施する、との報告があった。
- ・ 計画研究 A02 の活動報告として、石戸代表より、研究会を定期開催するとともに、9月に国際シンポジウムを千葉大で実施する予定であることが報告された。また、分担者の鈴木が所属する同志社大学南シナ海研究センターと合同でシンポを開催予定であることが報告された。
- ・ 計画研究 B01 の活動報告として、酒井代表より、ネイション意識とスポーツに関するワークショップを企画しており、夏ごろにサッカーを取り上げて実施予定であることが報告された。
- ・ 計画研究 B02 の活動報告として、末近代表に代わり久保・山尾分担者より、SOASからの招聘予定がキャンセルとなったため、来年度9月に繰り越すこととなった旨、報告があった。また来年度に世論調査をイラク、ボスニア、シリアを対象に実施する予定である。
- ・ 計画研究 B03 の活動報告として、五十嵐代表より、グローバル・コモنزの理論・検証を整理し、年4回の研究会を実施して文理融合のグローバル・コモنز研究を確立する

との予定が報告された。そこでは、既存の研究を批判的に検討し、「ネオ・グローバル
コモンズ」などの構築を目指す。

その他の事項として、HP の構成・デザインを改善すべき、という意見が提示された。その
結果、特任研究員を中心に、より見やすいデザインなどの工夫をすることとなった。

総括班会議終了後、シンガポール大学中東研究所との合同ミーティング(2017 年 2 月 26 日
(日) 15:00～18:00)を実施し、プログラム概略と日程についての詰めを行った。

(了)